現在・未来のくらしに役立つ情報誌

総務省

MIC
Ministry of Internal Affairs and Communications

MIC MONTHLY MAGAZINE

8
2025 August
Vol.296

P.2 特集

ビッグデータ・トライアル

―新たなデータソースの利活用への挑戦―

MIC NEWS01
P.10 スマートフォンの活用方法が無料で学べる!
デジタル活用支援の講習会を全国で実施しています

MIC NEWS02
P.12 令和7年９月30日(火)リニューアル開講
「社会人のためのデータサイエンス演習」受講者募集中

MIC NEWS03
P.13 満期を過ぎた簡易生命保険や
支払開始となった年金保険はありませんか?

地域DXのヒント
P.14 自治体情報システムの標準化

P.6 地方のかがやき
東村山市 東京都

残暑

立秋（8月7日）を過ぎ、なお暑さが残る残暑の時期。東村山市のブランド果実・多摩湖梨が最盛期を迎えます。

表紙の写真：多摩湖梨（東村山市）

特集

ビッグデータ・トライアル

―新たなデータソースの利活用への挑戦―

総務省が中心となって各府省とともに取り組んでいる「ビッグデータ・トライアル」とその取組を支える「ビッグデータ・ポータル」についてご紹介します。

ビッグデータ・トライアルとは?

「ビッグデータ・トライアル」とは、どのような取組ですか？

「ビッグデータ・トライアル」とは、一言で言うと、ビッグデータを活用した試行的な取組のことです。総務省では、主に国や地方公共団体に対して、ビッグデータの活用可能性を発信することで、それぞれの機関において、より良い統計の作成や、政策立案の改善等に役立てていただくための取組を進めています。

そもそも、「ビッグデータ」とはどのようなものなのでしょうか？　聞いたことはあるのですが…

ビッグデータとは、一般的に、量、速度、多様性の特徴を持つものとされることが多いです。

具体的には、主に GPS やスマートフォンの基地局から取得される人流データ、お店のレジを介して取引情報が取得される POS データ、各種 SNS におけるユーザーの投稿・発信等を集約化した SNS データなどがあります。

これらのビッグデータからは、様々なことを分析することができます。例えば、人流データからは、いつどこにどれくらいの人がいるかを把握することができますし、POS データからは、商品の価格の変動等を把握することができます。

ビッグデータには、国や地方公共団体などが持っている情報を含むこともありますが、「ビッグデータ・トライアル」は、主に民間企業等が持っているデータを利活用していく取組と捉えていただければと思います。

● 主なビッグデータ

人流データ	GPS やスマートフォンの基地局との通信等によって取得し、個人の特定が不可能な形式に加工（秘匿処理）した、個人の位置情報に関するデータ
交通データ	カーナビゲーションシステム等から収集される、車等の移動履歴に関するデータ
衛星画像データ	人工衛星に搭載されたセンサーで取得された、上空からの画像データ
POS・ポイントカードデータ	店舗の POS レジやポイントカード等を介して取得される、消費者の商品（サービス）などの取引情報データ
SNS データ	各種 SNS におけるユーザーの投稿・発信等を集約化したデータ
インターネット検索データ	インターネットの検索エンジンによる検索履歴を集約化したデータ

様々なビッグデータがあるのですね！

統計にビッグデータを活用することで、どのような効果やメリットがあるのですか？

例えば、統計調査では、回答を回収した後にとりまとめ・集計が必要なので結果の公表までに時間がかかることもありますが、ビッグデータを活用することでとりまとめの手間が減り、統計作成や結果の公表を早くできる可能性があります。ほかにも、これまで統計調査の対象者に回答してもらっていた項目の一部を、ビッグデータを活用することで補える可能性や、統計調査では得られなかったデータを取得することで、これまで把握できなかった実態を把握できるようになる可能性もあります。

一方で、ビッグデータは統計を作成することを目的に集められたものではないということに注意が必要です。例えば、スマートフォンの基地局データは、その携帯電話キャリアの利用者だけの情報であるなど偏りがある場合があります。また、データを持っている企業がデータの収集や提供ができなくなる可能性があることなどに気を付けなければなりません。

すでに、国や地方公共団体等でビッグデータが利活用されている事例はあるのですか？

様々な事例がありますが、例えば、総務省が作成している「消費者物価指数（CPI）」の一部品目で、POS データの活用や、ウェブスクレイピング技術を活用したウェブサイトからの大量の自動的な価格収集を実施しています。

既存の統計のほかにも、EBPM（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案）にビッグデータが活用される事例もあり、内閣府では、POS データや求人広告データを使って、物価推移や雇用情勢を分析しています。

● 各事例の概要はこちら（この後ご紹介するビッグデータ・ポータルに掲載しています。）

消費者物価指数（CPI）における POS データ及びウェブスクレイピングの活用【総務省】

https://www.e-stat.go.jp/bigdataportal/case/120

月例経済報告における POS データ、求人広告データの活用【内閣府】

https://www.e-stat.go.jp/bigdataportal/case/301

ビッグデータ・ポータルを開設しています!

ビッグデータについては分かりましたが、実際に活用するのは少し難しそうです…

ビッグデータ・トライアルの取組の一つとして、総務省では、「ビッグデータ・ポータル」というサイトを運営しています。

ビッグデータの活用に向けた取組は、色々な分野において様々な形で行われている一方、実際にどのようなビッグデータがあるのか分からない、また、ビッグデータがあってもどのように活用したら良いか分からないという声もあります。そのような中で、ビッグデータに関する情報をまとめて掲載し、提供することで、関係者を結びつけるプラットフォームとなることを目指してビッグデータ・ポータルを開設しました。

このサイトでは、民間企業等が持っている様々なビッグデータの情報や、国・地方公共団体・民間企業等での利活用事例などを紹介していますので、ビッグデータを活用してみたいと思われたら、まずは一度サイトをのぞいてみてはいかがでしょうか。

● ビッグデータ・ポータルのトップページ

データ紹介

民間企業等が持っている様々なビッグデータに関する情報を掲載しています。それぞれのデータの概要や主な項目等が分かりますので、どのようなビッグデータがあるのか知りたい方はぜひご覧ください。

事例紹介

国の各府省や地方公共団体、民間企業等様々な分野における利活用事例を紹介しています。今後、ビッグデータの活用を考えている皆さんにとって、参考になる事例があるかもしれません。

～国・地方公共団体の皆さまへ～

ビッグデータ・ポータルでは、掲載コンテンツを随時募集中です。ビッグデータを活用された事例がありましたら、ビッグデータ・ポータル トップページの「掲載を希望する方はこちらまで」から、ぜひご連絡ください!

―ビッグデータ・ポータルへのアクセスはこちらから―

https://www.e-stat.go.jp/bigdataportal/

または　ビッグデータ・ポータル　で検索！

市内には緑豊かな風景が随所に広がり、暮らしのなかに自然が息づいている。美しい雑木林と桜の名所としても知られる狭山公園（写真）や八国山緑地の麓に広がる北山公園に加え、街路樹や緑地も多い。

緑豊かなまち

応永14年（1407年）に建立された国宝・正福寺地蔵堂（写真）や、地域の信仰を伝える八坂神社の祭礼、そしてかつての戦いの舞台となった久米川古戦場跡など、多くの場所で歴史と文化を感じることができる。

歴史と文化のまち

東村山市は都心へのアクセスがよく、その利便性のよさと、自然豊かな住環境のバランスがとてもよいと評判。2025年６月には東村山駅周辺の西武新宿線下り線が高架化されるなど、まちづくりが進められている。

利便性のよいまち

地方のかがやき

都心まで約30分のアクセス
自然と歴史･文化にあふれるまち

東村山市

東京都

Higashimurayama-City Profile

東村山市は、東京都の北西部、荒川から多摩川にかけて広がる武蔵野台地のほぼ中心に位置する。市域には私鉄西武各線とJR武蔵野線が縦横に走り、中央に新青梅街道と府中街道が交差している。昭和39年に市制を施行、令和6年に60周年を迎えた。

人口：151,920 人（令和７年５月31日現在）
面積：17.14 ㎢
URL：https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/

東村山市は、新宿や池袋から電車で30分ほどと都心へのアクセスに優れながら、狭山公園や八国山緑地など自然が豊かに広がる暮らしやすいまちです。市内には西武鉄道とJR東日本の２社８路線が走り、９つの駅が地域の個性を育んでいます。

市内には縄文時代の漆製品が多数出土した下宅部遺跡をはじめ、古代から人々の営みが続く土地ならではの歴史が息づいています。八国山は鎌倉時代、新田義貞が鎌倉攻めの際に陣を張った地とされ、現在も将軍塚など歴史の面影を残しています。

市民の活動も活発で、久米川駅前の「くめらくの夏」や「のみむら」、地域の農産物や手作り品が並ぶ「マルシェ久米川」など、駅ごとに特色あるイベントが年間を通して開催されています。地域に根ざしたにぎわいと温かい人のつながりが感じられるまちです。

また、近年は駅周辺の再整備やデジタル施策にも力を入れており、利便性と快適性を高めながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりが進められています。

萩山公園

草地広場や遊具が整備された市民の憩いの場（2025年度中に供用開始予定）。写真は４月にオープンした Park-PFI 施設「はぎま」。

菖蒲まつり

北山公園の約600種、8,000株、10万本の花菖蒲が見頃を迎える初夏に開催される一大イベント。模擬店やライトアップが行われ、多くの来園者でにぎわう。

マルシェ久米川

東村山産の農畜産物を生産者から直接購入できるイベント。会話を通じて食の魅力を深く知ることができる。

秋津神社

地域の人々に親しまれてきた歴史ある神社。例大祭では伝統的な祭囃子が境内で実演され、地域のにぎわいを感じられる。

豊島屋酒造

数少ない東京都内にある蔵元。毎年４月に開催する豊島屋フェスタには、多くの日本酒愛好家が集まる。

東村山久米川阿波踊り大会

毎年１万人以上が訪れるイベント。踊り手と観客の距離が近く、迫力ある踊りが楽しめる。

そらいち東村山

暮らすまちのにぎわいの創出、新たな魅力の再発見、市への愛着を育むことを目的とし地域資源や人材を活用したマーケットイベント。現在は有志の市民等が実行委員会として集い、広々とした公園で開催している。

黒焼きそば

イカ墨入りの特製ソースが特徴のご当地グルメ。市内のメーカーの調味料を使用し、学校給食でも提供される。

武蔵野うどん

太くてコシのある麺を濃いめのつけ汁で味わう郷土料理。市内にも提供する店が多く、素朴な味わいが愛されている。

緑と歴史が息づく暮らしやすいまち

東村山市は、新宿から約30分とアクセスに恵まれた住宅都市です。市内には八国山緑地や狭山公園など自然豊かな場所が多く、四季の移ろいを身近に感じられます。

また、縄文時代の漆製品や中世の合戦跡などの文化遺産も数多く残されています。さらに、地域に根ざしたイベントや温かい市民のつながりが、暮らしやすさと親しみやすさを育んでいます。

東村山市長　渡部（わたなべ） 尚（たかし）

東村山市の取組 1

デジタル技術を活用して地域課題を解決

たのしむらやまポータル

暮らしに役立つ情報や行政サービス、施設予約などがひとつにまとまった、東村山市のデジタル窓口。

「たのしむらやまポータル」は、東村山市が進める“スマートな暮らし”を実現するための住民向けサービスの総称です。住民IDを活用して、必要な情報や手続き、サービスを個別に最適化しながら届ける仕組みで、LINEやメールによるプッシュ通知、オンライン相談、産後ケアクーポン配布など多彩な機能を順次拡充しています。

中でも注目されているのが、「公共施設予約・スマートロックサービス」。利用者はたのしむらやまポータルから施設利用の申し込みを行い、利用料をオンライン決済。送られてきた暗証番号で施設のスマートロックを解錠して施設を利用できるという仕組みです。従来は来庁が必要でしたが、オンラインで手続きが完了できるようになり、利便性が向上しました。

最適な情報がタイムリーに届く「パーソナライズドポータル」をはじめ、オンライン相談やデジタル講座の受講、公共施設予約などができる。

鍵の受け渡しや現金払いが必要だったが、リモート施錠システムにより快適かつ安全な利用を実現。

産後ケアが受けやすくなるデジタルクーポン

出産後のお母さんと赤ちゃんの心と体のケアを支援するため「産後ケアデジタルクーポン」を配布しています。指定の助産院で育児や授乳の相談、食事の提供のほか、赤ちゃんの健康状態の確認や沐浴などのサポートが受けられます。たのしむらやまポータルから簡単に申請・利用が可能です。

東村山市の取組 2

デジタル通貨で地域活性化

アインPay

店舗や施設の二次元コードをスキャンし支払額を入力するシンプルな操作性。市民税の支払いにも利用可能。

店舗やイベントでポイント還元キャンペーンを実施することで売上アップも狙える。

東村山市では地域内の経済循環と市民の利便性向上を目的に、独自のキャッシュレス地域通貨「アインPay」を展開しています。市内の加盟店舗で使えるほか、行政の各種施策とも連携し、暮らしに身近な存在として広がりつつあります。

利用者はセブン銀行のATMや専用チャージ機でチャージし、店舗の二次元コードをスキャンして支払います。チャージ時に1%のポイントが付与され、イベントや特定のお店での利用で特別還元が行われるなどお得に買い物ができます。

そのほか、お店からの最新情報やお得なキャンペーン、市からのお知らせやクーポンなどが配信され、単なる決済手段にとどまらない、地域活性化のプラットフォームとして期待されています。

「アイン」は、地域愛の「アイ」とコインの「イン」に由来。

きらきら！いきいき！東村山市のくらし

着ぐるみを着ると自己肯定感アップするので試してみて

有限会社ラビッツ・コーコ 代表
藤原公子さん

人づくり、ものづくり支援の仕事をする中で、市内の企業さんの販促で「らびっこ」の着ぐるみに入ったことがきっかけで、地域イベントに関わるようになりました。盆踊りや芋掘りなどにも呼ばれる中で、こどもたちが安心して過ごせる社会をつくりたいと思い、「らびっこふれあいキャラバン」を立ち上げました。東村山ゆかりのキャラを集めた「ゆるキャラ大集合まつり」も主催。今後は着ぐるみカフェの実現を目指しています。

「らびっこ®」(左)と、東村山市公式キャラクター「ひがっしー」(右)。

MIC NEWS

01 スマートフォンの活用方法が無料で学べる! デジタル活用支援の講習会を全国で実施しています

「デジタル活用支援推進事業」とは？

総務省では、民間企業や地方公共団体等と連携し、あらゆる世代の方々のデジタル活用を支援するため、令和３年度から、身近な場所で、スマートフォンを利用したオンライン行政手続き等について学べる**無料のスマホ講習会**を全国で実施しています。

講習会では総務省指定の研修を受けた講師が丁寧に説明します。また、講習会はどなたでも、何度でも受講できます。

デジタルの活用方法を学び、自分に合ったサービスを見つけることで、より便利で豊かな生活を送ることができます。

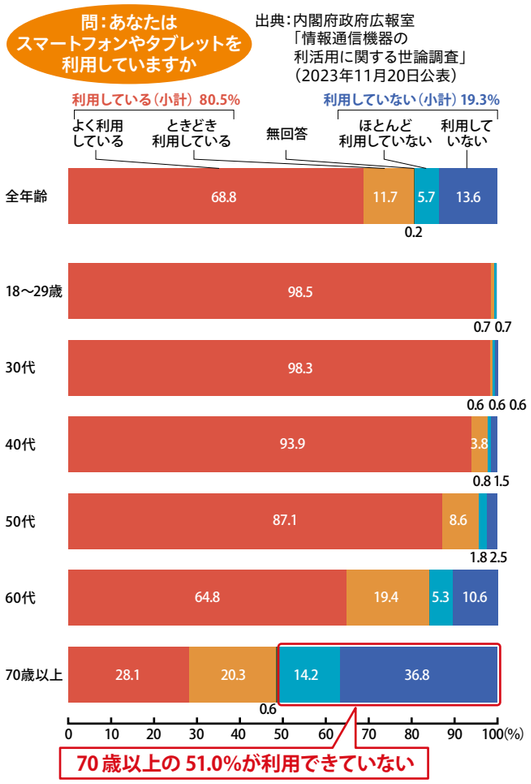
デジタル活用に不安のある方ご本人だけではなく、ご家族やご友人のなかで「デジタル活用をはじめたい」とお考えの方がおられましたら、周囲の皆さまも受講のご予約をお手伝いいただく等、積極的な応援やあと押しをお願いいたします。

※デジタル活用支援講習会では、上記ロゴマークが掲載されたポスター等を設置して実施しています。

「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」

令和５年に実施された内閣府の世論調査では、70歳以上の方の51.0%がスマートフォン等を利用できていないと回答しており、年齢が上がるにつれてスマートフォン等のデジタル機器を活用できていないことがわかります。

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる方と利用できない方との間に生じる格差のことは、「デジタル格差」や「デジタル・デバイド」と呼ばれています。国ではデジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せを実現できる社会を目指すため、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」というテーマを掲げています。そんな中、総務省では高齢者等のデジタルに不慣れな方々がデジタル活用の恩恵を受け、いきいきとより豊かな生活を送ることができるようにするため、デジタル活用支援推進事業を行っています。



講習会で何が学べるの？

講習会では、基本的なスマートフォンの使い方から、応用的なオンライン行政手続きの利用方法まで、さまざまな講座を実施しています。講座の内容は、講習会を実施する団体によって異なります。全国の携帯ショップ等を中心とした「全国展開型」の団体では、スマートフォンの活用についてもう一歩踏み込んだ「応用講座」を取り扱います。

また、地方公共団体と連携した企業等を中心とした「地域連携型」と「講師派遣型」の団体では「応用講座」に加え、電源の入れ方やインターネットの使い方等、基本的な操作方法を含めた「基本講座」も取り扱います。詳しくは、右記の講座の種類をご覧ください。

なお、「地域連携型」の団体では、携帯ショップのない地域を対象として事業を実施します。加えて、「地域連携型」については、公民館等で対面形式にて講習会を実施するほか、公民館等の公共的な施設にPCやタブレットを設置してオンライン形式で講習会を行う等、全国における講習会の実施を強力に推進しております。

また、デジタル活用支援のポータルサイトに、各講座の教材を掲載しているほか、内容を解説する動画を掲載しています。この動画を見ることで、ご自宅でも講習会の内容を復習することができます。

	応用講座	基本講座
実施講座	① マイナポータルを活用しよう	① 電源の入れ方、ボタン操作の仕方を知ろう
	② スマートフォンでマイナンバーカードを申請しよう	② 電話、カメラを使おう
	③ スマートフォン用電子証明書をスマートフォンに搭載しよう	③ 新しくアプリをインストールしてみよう
	④ マイナンバーカードを健康保険証として利用しよう・公金受取口座の登録をしよう	④ インターネットを使ってみよう
	⑤ スマートフォンで確定申告(e-Tax)をしよう	⑤ メールをしてみよう
	⑥ オンライン診療を使ってみよう	⑥ 地図アプリを使おう
	⑦ 全国版救急受診アプリ(Q助)で病気やけがの緊急度を判定しよう	⑦ メッセージアプリを使おう
	⑧ ハザードマップポータルサイトで様々な災害のリスクを確認しよう	⑧ スマートフォンを安全に使うための基本的なポイントを知ろう
	⑨ 浸水ナビを使って水害シミュレーションを見てみよう	⑨ オンライン会議アプリを使ってみよう
	⑩ 地理院地図を使って身近な土地の情報を知ろう	等
	⑪ デジタルリテラシーを身につけて安心・安全にインターネットを楽しもう	
	⑫ スマートフォンで年金の情報を確認しよう(ねんきんネット)	
	⑬ 生成AIを使ってみよう	
	⑭ 文字表示電話サービス(ヨメテル)を使ってみよう	
	⑮ 地方公共団体が提供するオンラインサービスの利用方法	
	⑯ 地域におけるオンライン行政手続の実施方法 等	
実施場所	携帯ショップ、地域の公民館等	地域の公民館等
実施団体	全国展開型事業者（携帯キャリア） 地域連携型事業者（携帯キャリア、地域のICT企業や社会福祉協議会等） 講師派遣型事業者（携帯キャリア、地域のICT企業等）	地域連携型事業者（携帯キャリア、地域のICT企業や社会福祉協議会等） 講師派遣型事業者（携帯キャリア、地域のICT企業等）

※取り扱う講座は、講習会の実施場所または講習会の実施団体ごとに異なります。受講をお考えの場合は、事前にお電話にて確認の上お申し込みください。

講習会に参加するには？

デジタル活用支援の講習会は、**無料で、どなたでも受講することができます。**参加を希望される方は、以下の手順で、講習会にお申し込みください。

（1）まず、お近くで開催している講習会を確認します。

下記お問い合わせ先にお電話いただくか、デジタル活用支援のポータルサイトから、お近くで開催している講習会の申込窓口をご確認ください。ポータルサイトでは、地域ごとに、開催している講習会情報や申込窓口の連絡先を検索することができます。

（2）次に、講習会の申込窓口に直接、「デジタル活用支援」の講習会に参加したいとお申し込みください。

（3）当日、無料でご参加ください。講習会によっては、必要な持ち物をご案内されるものもありますので、お申し込み時等にご確認ください。

講習会の様子

お問い合わせ先

【デジタル活用支援の講習会情報に関する連絡先】
デロイトトーマツテレワークセンター株式会社
（執行団体）
電話：03-6628-4343
Email: info-r7@ml.digi-katsu.go.jp

こちらからデジタル活用支援講習会の検索ができます。
【デジタル活用支援　ポータルサイト】
https://www.digi-katsu.go.jp/

MIC NEWS 02

令和7年9月30日(火)リニューアル開講「社会人のためのデータサイエンス演習」受講者募集中

Excelや統計解析ソフトRを使った実践的なデータ分析(統計分析)の手法を学べる無料のオンライン講座です。

総務省は、統計リテラシー向上のための取組として、「データサイエンス・オンライン講座」を開講しています。その講座の一つである「社会人のためのデータサイエンス演習」を令和７年９月 30 日（火）に開講します。

今回、全面リニューアルを行い、データサイエンスの理論や手法をビジネス上の事例を想定した演習で反復学習できる構成にいたしました。

データ分析（統計分析）の手法を、表計算ソフト（Microsoft Excel）や統計解析ソフト R を使った演習を交えて学習します。演習は全てビジネス上の事例を想定した実践的な内容です。

どなたでも受講登録が可能（登録料及び受講料無料）です。新しく生まれ変わった本講座をぜひご受講ください。

「社会人のためのデータサイエンス演習」の概要

- 開講期間　令和７年９月 30 日（火）～ 12 月９日（火）予定
- 学習時間　１回 10 分程度×５～８回程度（１週間）×５週
  ※ Excelの演習を含む。この他にRの演習有り（特別週。10分程度×8回）
- 課　　題　各週の確認テストと最終課題の実施
- 講　　師　松尾 豊氏（東京大学大学院工学系研究学科教授）ほか
- 講座内容

Week 1：データサイエンスとは
データサイエンスで必要な知識やデータ分析のサイクルを学ぶ

Week 2：現状を把握して課題を見つける
データの特徴や2変数間の関連性を捉える方法を学ぶ

Week 3：過去のデータから未来を予測してみよう
様々な変数から他の1変数を予測する方法を学ぶ

Week 4：その差は偶然？それとも意味のある差？
～結果を解釈する力をみにつける～
データ間に生じる差が偶然か意味のある差かを判定する方法を学ぶ

Week 5：ビジネスでデータサイエンスを活用するにあたって
分析結果の報告方法やデータを扱う際の注意点を学ぶ

※ Week2 ～ 4において表計算ソフト(Microsoft Excel)の演習を実施。
この他に特別週として統計解析ソフトRの演習を学習

受講の流れ

受講登録	下記URLまたは二次元コードから無料で受講登録
講義動画視聴 ディスカッション	講師による説明動画で実践的なデータ分析の手法を分かりやすく解説
確認テスト 最終課題	各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認
修了証の取得	確認テストおよび最終課題の得点率により修了証を取得

☑ 受講料 無料　☑ スキマ時間でできる! 1回あたり 約10分　☑ スマホ・タブレット受講OK

受講登録はこちらから
データサイエンス・オンライン講座
「社会人のためのデータサイエンス演習」
https://gacco.org/stat-japan2/

MIC NEWS 03

満期を過ぎた簡易生命保険や支払開始となった年金保険はありませんか？

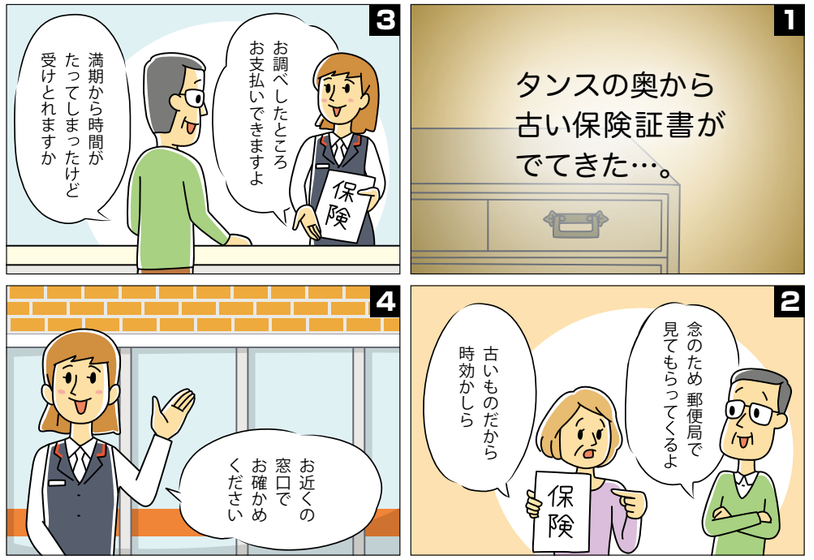
民営化前の簡易生命保険について、保険金等をお受け取りいただいていないお客さまに「保険金等支払案内書」の送付に加え、郵便局員等による手続案内、かんぽ生命による電話連絡等により、できるだけ早くお受け取りいただくようご案内しておりますが、**まだお受け取りいただいていない保険金等があります。**

ぜひ、この機会に保険証書をご確認の上、ご請求手続きをお願いします。

また、**お引越し等に伴う住所変更のお手続きがされていないと、重要なお知らせをお届けできないことがあります。**

インターネット（かんぽ生命Webサイトのマイページ：https://www.jp-life.japanpost.jp/mypage/）、かんぽコールセンターまたはお近くの郵便局で住所や電話番号の変更のお手続きを行っていただきますようお願いいたします。

※ ご登録いただく電話番号については、災害時などにもご連絡がとりやすい、携帯電話番号をお願いしております。



いま一度、保険証書をご確認ください

※郵政博物館提供

お問い合わせ先は、最寄りの郵便局、かんぽ生命の支店、またはかんぽコールセンターまで

- **かんぽコールセンター**　**0120-552-950（通話料無料）**
  ご高齢のお客さま専用コールセンター　**0120-744-552（通話料無料）**
  受付時間　（平日 /9:00 ～ 21:00、土・日・休日 /9:00 ～ 17:00 ※１月１日～３日を除きます）
  ※「保険証書」や「ご契約内容のお知らせ」により、契約内容・保障内容等をご確認ください。
  ※ 個人情報保護のため、契約者などご本人さまからのお電話をお願いいたします。
- **独立行政法人 郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構**
  https://www.yuchokampo.go.jp/topics/attent_kampo.html

※民営化前の簡易生命保険契約に基づく保険金等の支払については、民営化後も政府保証が継続しています。

地域DXのヒント　総務省　地域DX　検索

自治体情報システムの標準化

地域DXのヒント第17回は、自治体情報システムの標準化について解説します。

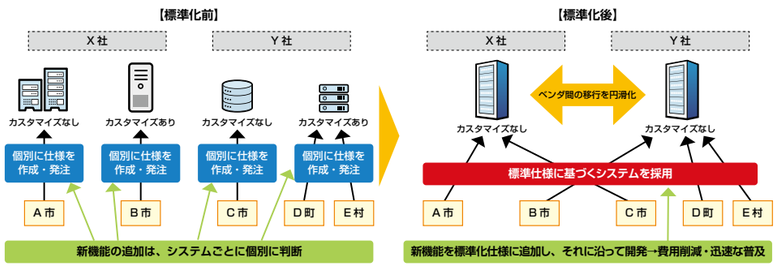
令和３年に成立した地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、自治体は、原則として令和７年度までに、住民基本台帳、個人住民税などの20業務の情報システムを標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが定められています。人口減少社会において、制度改正に伴うシステム改修を個別団体が独自に発注する人的負担を減らすとともに、システムの共同利用や機能・データに係る標準の策定を通じたベンダロックイン防止等による効率化を図り、地域の実情に即した住民サービスの向上に注力できるようにするとともに、新たなサービスの迅速な展開を可能とすることを目指しています。

総務省では、自治体が標準準拠システムへ円滑かつ安全に移行することができるよう、移行経費に対する財政支援として、令和６年度補正予算で194億円を追加計上しており、総額は7,182億円となっています。

加えて、具体的な移行工程などを整理した移行手順書の提供、自治体に対して無償で標準化の専門アドバイザー派遣などの取組を行っています。

円滑かつ安全な移行を目指し、自治体の実情やご意見を丁寧に伺いながら、自治体の取組を支援していきます。

情報システムの標準化イメージ



編集後記

editorial note

８月号をお読みいただきありがとうございます。

今回、地方のかがやきでご紹介したのは東京都東村山市です。東村山市は都内の主要駅まで30分程度で移動できる便利な立地で、ベッドタウンとして発展してきたほか、さつまいもや梨などの農業も盛んです。有名な東村山音頭も昭和36年に当時の東村山町農業協同組合が中心となって企画したものだそうです。

東村山市では、地域通貨アインペイやたのしむらやまポータルなど、独自の取組でデジタル化を進めています。たのしむらやまポータルは１つの住民IDで子育て支援や公共施設予約など様々なサービスを使用することができ、これから利用できるサービスも増える予定と聞いており、さらに便利になりそうです。

末尾になりましたが、今回ご協力いただきました皆さまには心より感謝申し上げます。

（広報室　C.H）

● 広報誌「総務省」についてのご意見・ご要望は、電子メールでお寄せください

MAIL ▸ kohoshi@soumu.go.jp

5年に一度、全員参加の統計調査

国勢調査2025

9月下旬頃から
調査書類をお届けします

調査期日 10.1(水)

https://www.kokusei2025.go.jp/

国勢調査2025　検索

国勢調査をよそおった詐欺（さぎ）や不審な調査にご注意ください。

総務省統計局・都道府県・市区町村

2007年（平成19年）9月30日以前

郵政民営化前の郵便貯金 早めに払戻しのお手続きを！

ご自宅で眠っている郵便貯金はありませんか？

もし見つけたらお早めに窓口へお持ちください！

権利消滅の扱いとなる※前にお近くの窓口へ！

※ 郵政民営化前にお預けいただいた、定額・定期・積立郵便貯金は全て満期を過ぎています。
これらの貯金は**満期から20年2ヶ月経つと権利消滅の扱い**となります。
※ 郵政民営化以降にお預けいただいた貯金は、この対象ではありません。

権利消滅の扱いとなった場合でも払戻しのご請求ができますので、窓口にご相談を！

※真にやむを得ない事情があったと認められた場合は払戻されます。
当該払戻しの運用については、預金者に一層寄り添う観点から見直しを行い2024年（令和６年）1月から新しい運用を実施しています。

お問い合わせ先

郵便局の貯金窓口 または **ゆうちょ銀行の窓口**

【ゆうちょ銀行の商品・サービスに関するお問い合わせ】
ゆうちょコールセンター 0120-108-420 通話料無料

平日…9:00 ～ 19:00 | 土・日・休日・12/31…9:00 ～ 17:00（1/1 ～ 3・5/3 ～ 5 はご利用いただけません）

※最新の受付時間についてはゆうちょ銀行Webサイトのお問い合わせページでご確認ください。https://www.jp-bank.japanpost.jp/
※携帯電話等からも通話料無料でご利用いただけます。
※IP電話等一部ご利用いただけない場合があります。
※ご利用の際は、発信者番号を通知してください（電話機が非通知設定の方は、上記の電話番号の最初に186を付けてお掛けください）。

ご注意ください

郵便貯金証書または通帳をお預けになる場合は、「預り証」を必ずお受け取りください。「預り証」は、後日、現金・郵便貯金証書または、通帳をお受け取りになるまで、大切にお持ちください。

郵政管理・支援機構（独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構）

詳しくは▶ 郵便貯金　機構

郵便貯金の払戻しについて、動画でもご案内を行っています。▶

総務省 Ministry of Internal Affairs and Communications　2025年8月1日発行　第296号（毎月1回発行）　発行／総務省　編集協力／株式会社角川アスキー総合研究所　印刷／株式会社ダイサン　Printed in Japan

この印刷物は古紙配合率 70%再生紙を使用しています。